

しやしんやさん

小川未明

青空文庫

あついでした。正ちゃんは あおぎりの 木の 下で、すべりだいに のって あ
 そうです。いきました。

そこへ、かみの ながい しゃしんやさんが はいって きて、

「ひとつ うつさせて くださいませんか。」

と たのみました。この しゃしんやさんは きかいを さげて、ごようを ききに あ
 るのです。

「子どもを とって もらいましようか。」

と、おかあさんは おつしやいました。

「かしこまりました。」

しゃしんやさんは、正ちゃんを すべりだいの 上へ かけさせ、おねえさんに ラン
 ドセルを しょわせて、下へ たたせました。

おねえさんは 小学一年生です。

「ぼっちゃん、お口を ふさいで。」

と、しゃしんやさんが いいますと、正ちゃんは、ああと 口を あけました。

「ぼっちゃん、いい子ですから、わらって くださいね。」

と、しゃしんやさんが いいますと、正ちゃんしょうは、したを ペろりと だしました。

これを みて いた おともだちは、正ちゃんしょうの わんぱくに あきれました。

「正ちゃんしょう ごらんなさい、おねえちゃんは おぎようぎが いいこと。」

と、おかあさんが おつしやいました。

「いいえ、ぼっちゃんも おぎようぎが よろしいですよ。さあ、うつしますから。」

と、しゃしんやさんが うつそうと しました。

すると、正ちゃんしょうは するすると すべりだいを すべりました。しゃしんやさんは

ごまっつて しまいました。

「この つぎに しましうか。」

と、おかあさんは おつしやいました。

かんがえて いた しゃしんやさんは、すっかり うつす よういをしてから、

「さあ、おじようさんも ぼっちゃんも、よろしく おかあさんの おかおを ごらんなさ

い。」

と いいました。

ふたりは、やさしい おかあさんの おかおを みました。かたときも わすれない
おかあさんだからです。

その とたん、パチンと 音が^{おと} して、

「よく とれました。」

と、しやしんやさんは あいさつを いたしました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：Julki

2012年7月16日作成

2012年9月28日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

しやしんやさん

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>